

新型コロナウイルス感染症対策で  
消防機関の救急業務はどう変わった

～北九州市消防局の場合～

北九州市消防局 救急課

柳内 透

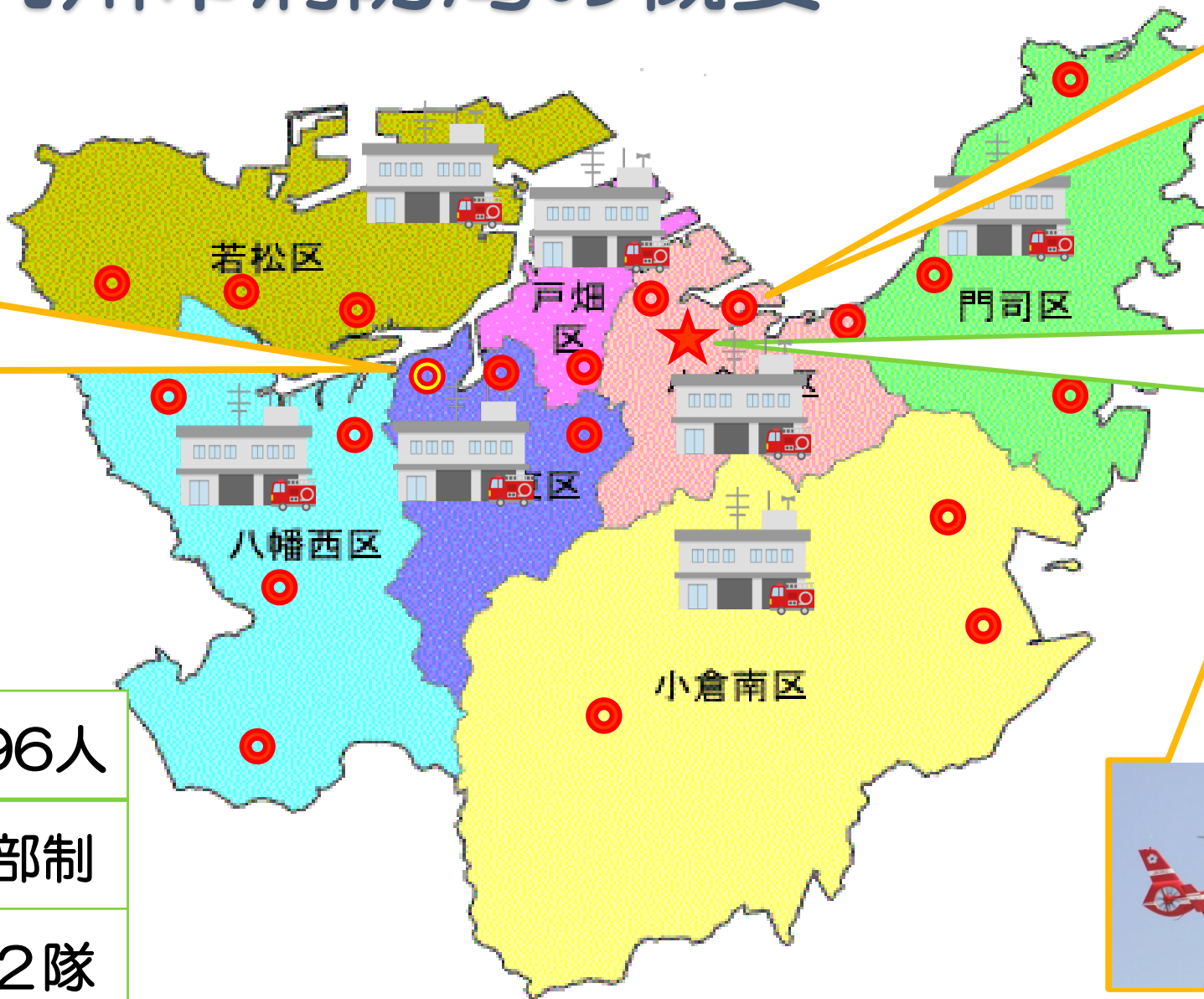
# 北九州市の概要



人 口	約 94 万人
面 積	491.95 km <sup>2</sup>
高齢化率	30.7% (令和2年3月現在) 政令市の中で最も高い
行政 区	7つの行政区からなる。 ( 門司区・小倉北区・小倉南区 若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区 )

# 北九州市消防局の概要

救急ワークステーション



消防艇



消防局

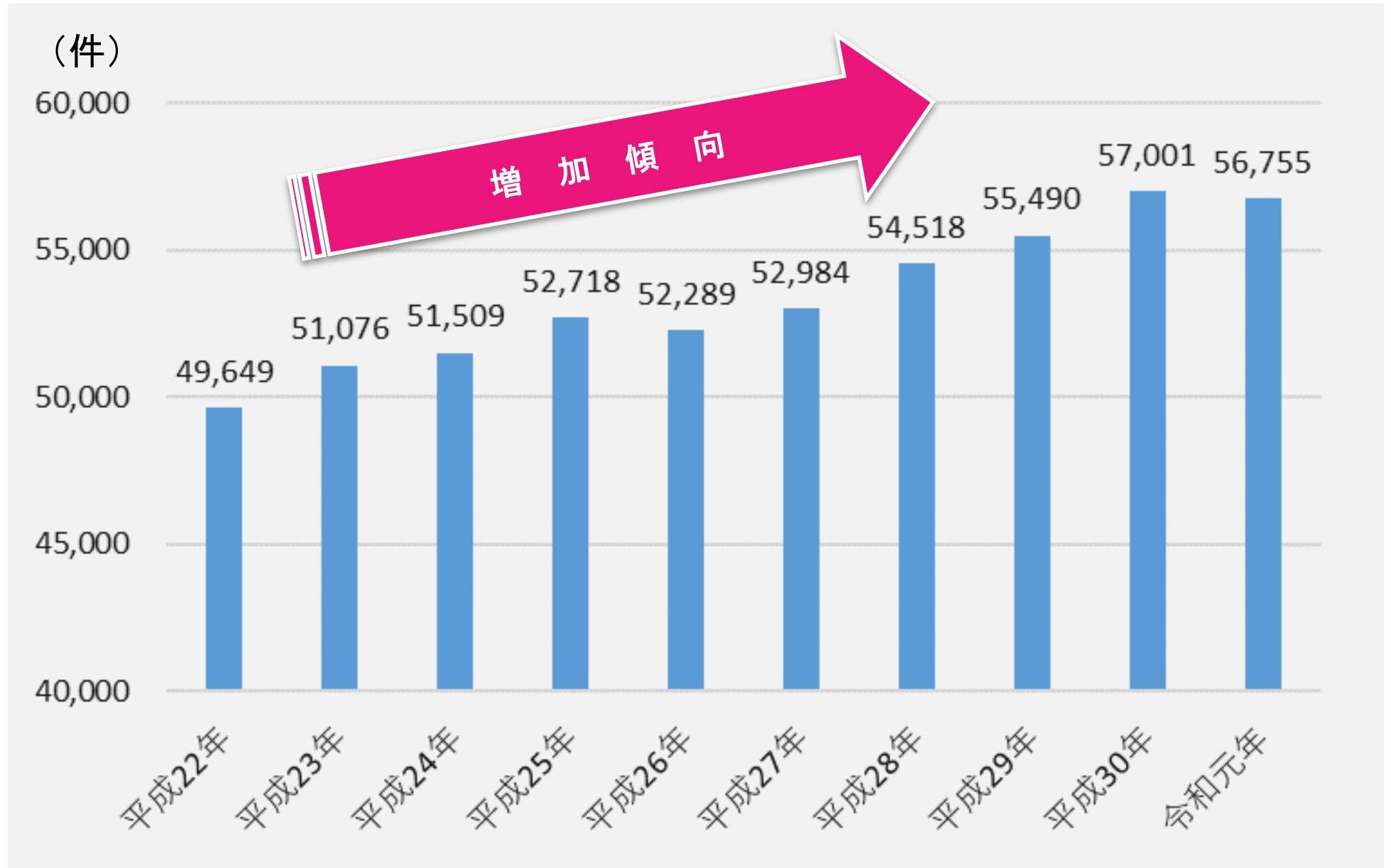


消防航空隊

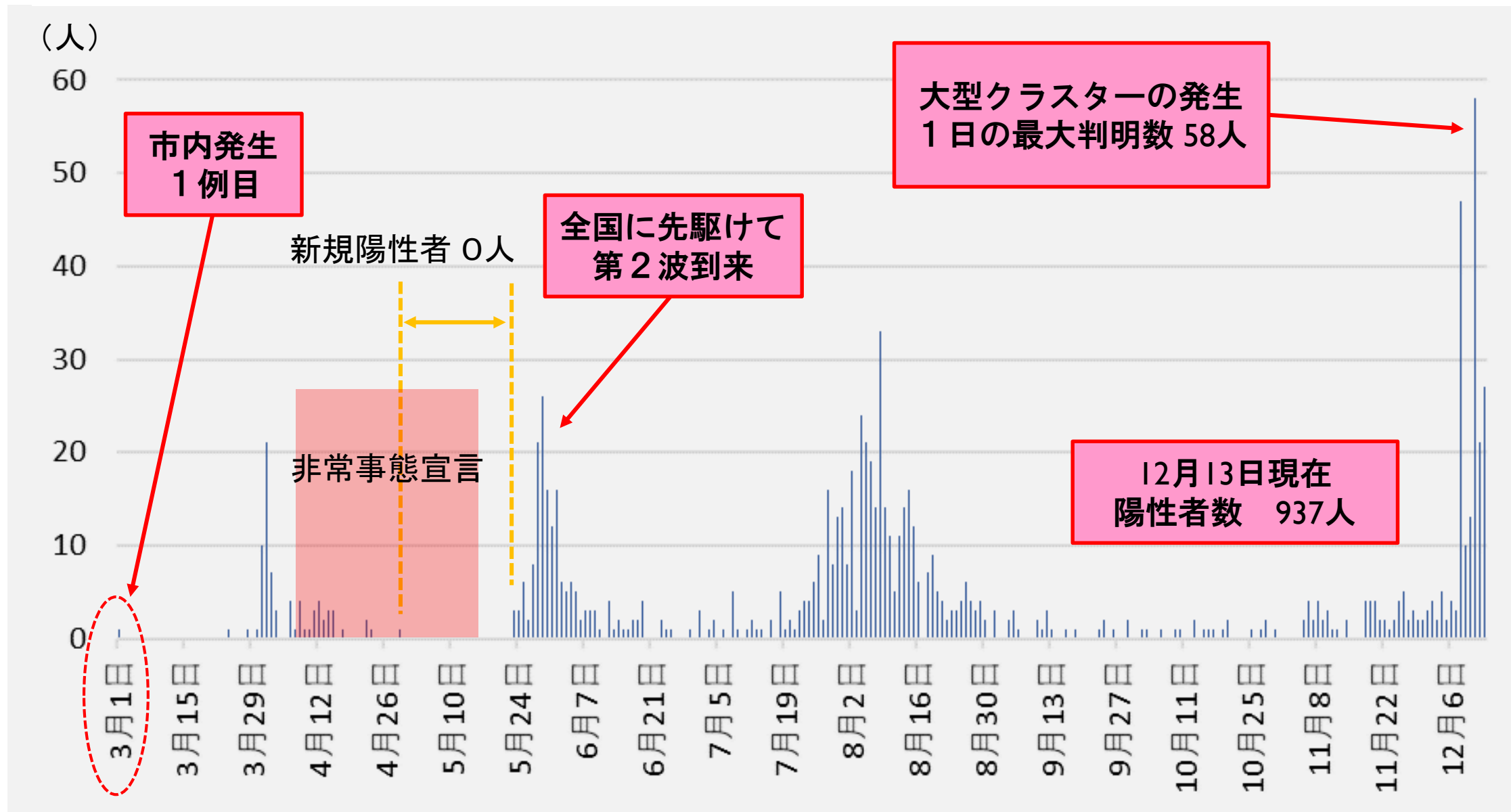


職員数	996人
勤務体制	3部制
救急隊数	22隊

# 北九州市の救急出動件数の推移



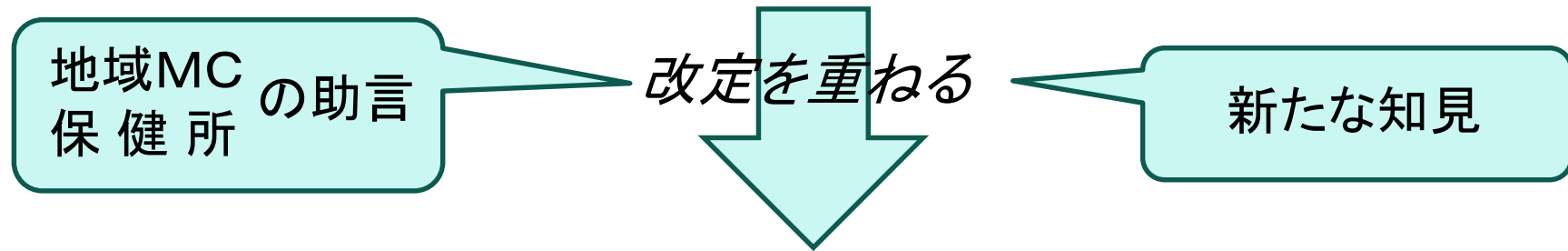
# 北九州市内の新型コロナウイルス感染症 発生状況



# 北九州消防局の取組み

令和2年1月14日 最初の新型コロナウイルス感染症関連通知 発出

『中華人民共和国湖北省武漢市における非定型肺炎の  
疑いのある患者を搬送した場合の対応について』



『新型コロナウイルス感染症に  
関する救急活動要領』

新型コロナウイルス  
感染症を疑う要件

感染防止装備

消毒要領

現場での対応

陽性患者の移送

etc...

# 新型コロナウイルス感染症を疑った現場活動

119番通報



プレアライバルコール



現場観察



- ◎ 発熱
- ◎ 咳
- ◎ 咽頭痛
- ◎ 呼吸苦
- ◎ 頭痛
- ◎ 嗅覚・味覚障害
- etc...

+

- ◎ CPA(疑い含む)

新型コロナウイルス  
感染症を否定できない

新型コロナウイルス  
感染症を疑った活動

令和2年12月11日現在  
約6,700件(全出動の15%)

搬送後に陽性が判明 57件

# 感染防止装備

## 【感染が疑われる救急事案】

### 【通常の救急事案】



- ・ゴーグル(フェイスシールド)
- ・サージカルマスク(N95)
- ・感染防止衣
- ・ディスポ手袋(一重)

感染が疑われる場合

- ・ゴーグル or **フェイスシールド**
- ・**N95マスク**
- ・感染防止衣
- ・**感染防止用ガウン**
- ・ディスポ手袋(**二重**)





# 傷病者・関係者への対応

## 新型コロナウイルス感染症が疑われる場合

### ◎ 119番通報・プレアライバルコール時

傷病者・関係者のマスクの着用を依頼

現場が屋内の場合、窓の開放等、可能な限りの換気を依頼



### ◎ 現場到着時

傷病者にサージカルマスク又は酸素マスクを着用させる。

家族等の関係者には、マスクの着用を促す。



基幹医療機関からの要望により... 『全ての救急事案』へ拡大

# CPA傷病者に対する対応

令和2年4月24日 北九州地域救急業務MC協議会 会長通知

『新型コロナウイルス感染症拡大時における  
心肺停止（CPA）傷病者に対する救急活動について』



◎ N95マスクの使用を推奨

◎ BVMによるマスクホールドを行った後に、胸骨圧迫を開始

◎ できるだけ早期に器具を用いた気道確保を実施  
→ 第一選択はラリングルチューブ（LT）を推奨

◎ BVMや気道確保器具を用いて換気する場合

→ 呼吸回路エアフィルター（いわゆる人工鼻）の装着が望ましい



# 二次感染の予防（消毒等の徹底）

救急隊員や市民の二次感染を防ぐため、  
北九州MCの医師や保健所の助言をもとに、活動要領に記載

## ◎ 感染防止装備の脱衣方法

感染防止装備の脱衣の手順、留意点

## ◎ 救急車・使用資器材の消毒方法

救急車内や使用資器材の徹底した消毒  
PA連携を行う消防隊の消毒も言及

## ◎ 救急車の換気

帰署後、30分間の救急車内の換気

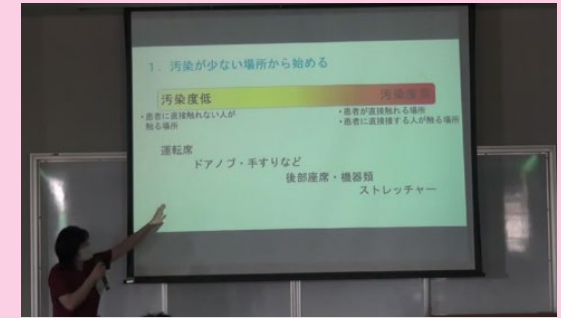


# 北九州地域救急業務MC協議会との連携

## ◎ 新型コロナウイルス感染症研修

地域MCの6消防本部を対象に、地域MCの感染症専門医や看護師により、研修を実施

- ・新型コロナウイルスをはじめとする病院前の感染対策
- ・感染防止装備の着脱や消毒の留意点・ポイント



## ◎ 感染防止対策DVDの作成

地域MCの感染症専門医の監修により、視覚的にとらえることのできる映像資料として作成

- ・感染防止装備の脱衣の手順と留意点
- ・救急車や使用資器材の消毒の方法



## ◎ Web会議の実施

地域MCを構成する医療機関で、救急患者を積極的に受入れることを確認

# 新型コロナウイルス感染症を疑う傷病者の 搬送に関する搬送基準

## ◎ 福岡県MC協議会にWGを設置（令和2年6月～）

目的：新型コロナウイルス感染症を疑う傷病者の救急搬送に関する  
基準を定めることで、搬送困難事案の改善を図る。

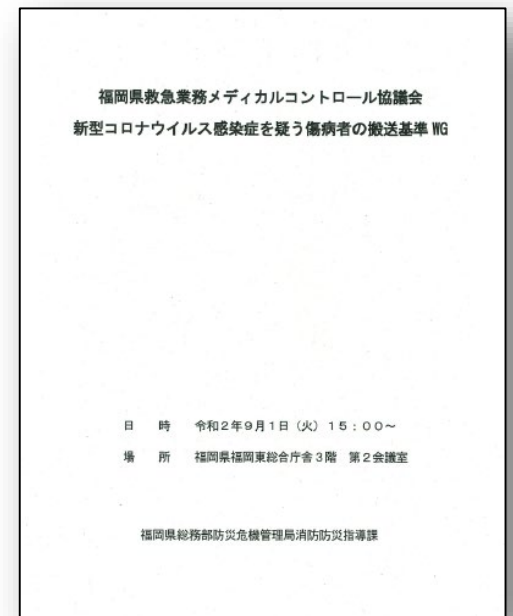
### 【構成員】

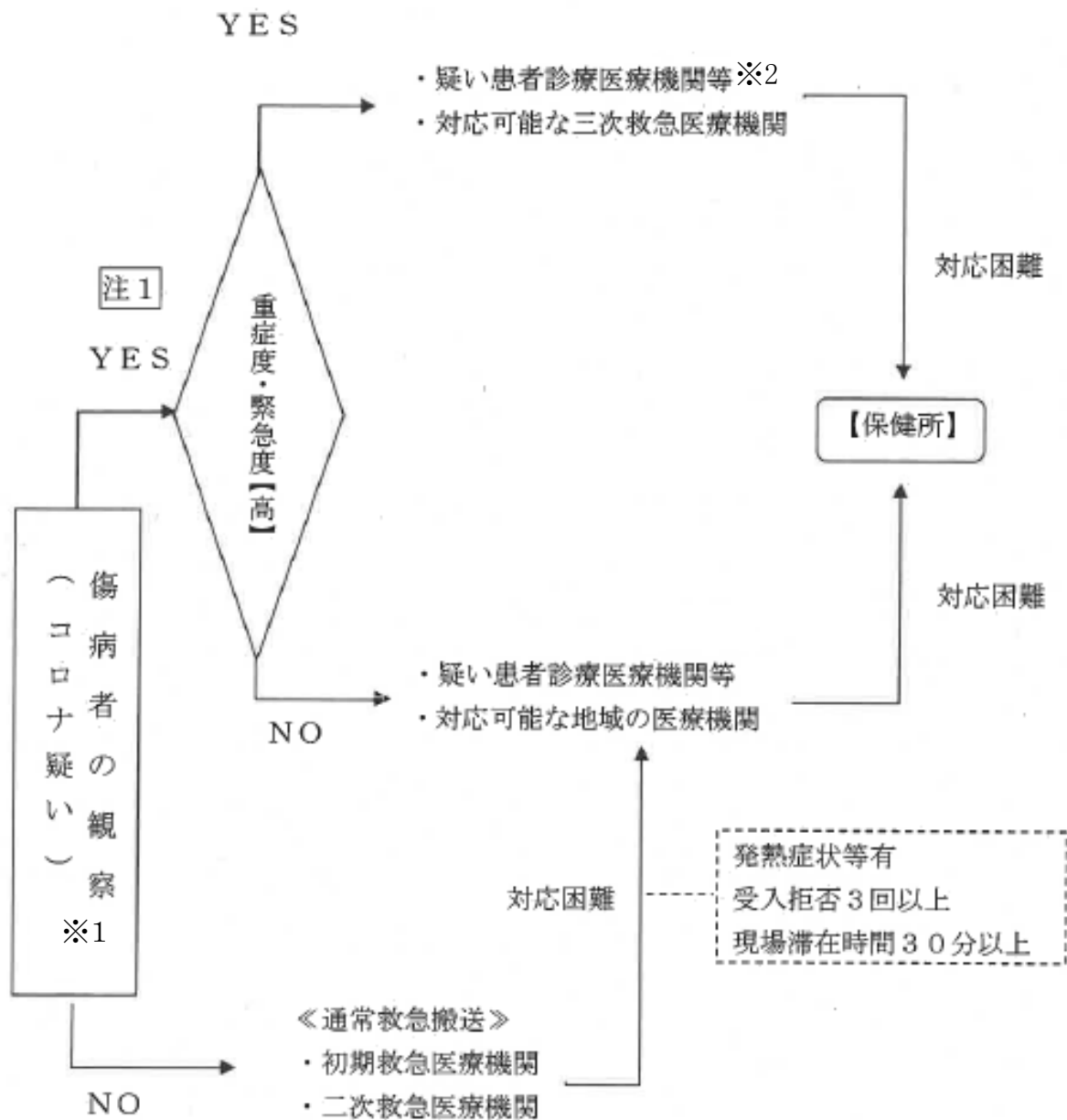
- ・福岡県MC会員
- ・医療機関
- ・消防機関
- ・保健所
- ・感染症専門医
- ・福岡県

4回（書面会議含む）の審議を経て...

『新型コロナウイルス感染症を疑う傷病者の搬送基準』

を策定





## 【※1】 新型コロナウイルス感染症疑いの条件

次のいずれか1つに該当した場合、新型コロナウイルス感染症が疑われる傷病者とする。

- 発熱(37.5℃以上) or 呼吸器症状(軽症含む)あり  
かつ 新型コロナ感染症陽性確定者と濃厚接触歴あり
- 発熱+呼吸器症状あり  
かつ 発症前14日以内に新型コロナ感染症が流行している  
地域(クラスター発生施設等)に滞在歴あり
- 発熱+呼吸器症状あり  
かつ 入院を要する肺炎を疑う患者  
高齢者又は基礎疾患がある者は、積極的に考慮する。
- 新型コロナ感染症以外の呼吸器感染症の病原体検査で陽性  
その治療への反応が乏しく症状が悪化している
- 医師が新型コロナウイルス感染症を疑うもの
- 新型コロナウイルス感染症にかかる検査結果待ちの患者

## 【※2】 疑い患者診療医療機関等

「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業(医療分)実施要綱」(厚生労働省)の「3(18)新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入のための救急・周産期・小児医療体制確保事業」に規定する「新型コロナウイルス感染症を疑う患者を診療する医療機関」に登録された医療機関を中心にリスト化したもの

# 陽性患者の移送

移送を行う隊を2隊に限定して指定

## ◎ 北九州市保健所との

『**新型インフルエンザ等の患者等の移送に関する覚書**』を準用

- ・保健所が移送できる体制の整備が行われるまでの間において、患者等が発生した場合
- ・同時に複数の患者等が発生するなど、保健所の移送能力を超える事態が生じた場合

## ◎ 移送時の感染防止装備

- ・ゴーグル or フェイスシールド
- ・N95マスク
- ・タイベックスーツ
- ・感染防止用ガウン
- ・ディスポ手袋(二重)
- ・靴カバー



## ◎ 移送の実績（～12月11日現在）

4月	5月	6月	7月	8月
6件	7件	20件	13件	44件
9月	10月	11月	12月	合計
6件	2件	6件	9件	113件

※うち、25件が市外への移送

# おわりに…

◇ **新型コロナウイルスに関する動きは、急速に変化する。**  
新たな知見、新たな制度、新たな資器材…

◇ **様々なレベルでの連携が求められる。**  
**しかも、スピード感を持って…**

行政間 縦の連携(国 — 県 — 市町村)

横の連携(消防 — 保健所 — 衛生主管部局)

地域での連携(消防 — MC協議会 — 医師会 — 医療機関)

◇ **連携する機関の間での、共通認識・共通言語の重要性**  
例えば、「感染の疑い」とは…？

◇ **MC協議会との連携は、不可欠かつ強力な味方**



# ご清聴 ありがとうございます

